

近隣大学の授業用端末の整備状況

委員会において、宮川委員長から口頭にて説明があり、資料提供のご要望いただきました「近隣大学の授業用端末の整備状況」を表 2 に示します。

表 2 近隣大学の授業用端末の整備状況(情報系センター運営分)

	現在の状況	PC必携化開始時期	リース等終了予定	今後の予定等	課題等(担当教職員の意見)
弘前大学	8教室に570台 ▪ Windows 564台 ▪ Mac 6台	令和4年	令和9年2月	▪ 端末台数の削減を検討。 ▪ 理工学部とのシステムとの統合を検討。	▪ 医学部CBTを1日で行える環境の維持。
秋田大学	5教室に Windows 387台 ※小規模教室は閉鎖済	令和3年	令和11年9月	未定	▪ BYOD端末を使用する授業に難があり、教育用端末維持の必要を感じる。 教員から端末が無くなると困るとの声がある。 ▪ 医学部CBTのため、ある程度の維持が必要。
山形大学	8教室に Windows 585台 (うちCBT用ノートPC 151台)	令和3年	令和9年1月	▪ 経営層からの指示がなければ現状維持。 ▪ 次期調達では1教室31台を削減予定。	▪ キャンパスが分かれた各学部の意見があり情報系センターからの提案が困難。
宮城教育大学	完全撤廃(令和5年)	平成29年 ※機種指定			
福島大学	40台 ▪ 授業はBYOD端末で実施 ▪ 基本OSS使用 ▪ 必要なソフトウェアは部局予算で購入	令和4年	令和7年3月	更新予定なし(撤廃)	

各学校様のご状況

既存顧客（東日本、センター系）

- ◆新潟大学センターシステム OSV-VHD 904式 → OSV-VHDの継続利用 314式、残りはBYOD
(2021年度調達)
- ◆宇都宮大学センターシステム OSV-VHD 497式 → OSV-VHD継続利用 247式、残りはBYOD
(2021年度調達)
- ◆福島大学 OSV-VHD 431式 → 全面的にBYODに移行 (本年度調達)
- ◆群馬大学 OSV-VHD 616式 → CBT端末のみネットブートで継続利用 (150式程度、今回の調達から除外)
他は全面的にBYOD (本年度調達)
- ◆筑波大学 環境復元ソフト 1,190式 → 環境復元ソフトで継続 据置PCを1,550式に増設 (本年度調達)
- ◆成蹊大学 環境復元ソフト 150式 → 教室は環境復元ソフトで継続、そこに「AP仮想化」を加えBYOD対応
(2019年度調達) SPSSを学外から利用